

山北小学校
山北小学校
山北小学校

山北っ子

R1.10.11
第7号

文責
淵上 佳宏

児童一人一人が輝き、夢実現

前期終了にあたって

キャリア教育を中核に据えて



今日（十月十一日）で、前期が終了しました。四月からの六ヶ月間余りの期間で、子供たちは、授業や学校行事など日々の教育活動とおし、学力をつけたり、心を磨いたり、体を鍛えたりしてきました。その途中経過を、通知表「あゆみ」としてお伝えします。この「あゆみ」を見て、親子で確かめ合ってほしいことが二つあります。

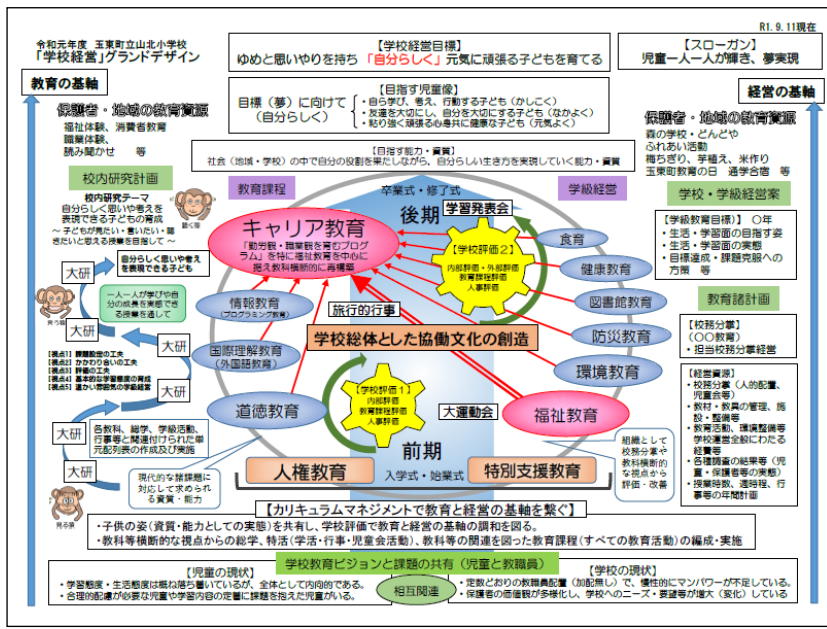
- ① 自分から進んで何かにチャレンジしたか
- ② 自分で考えて行動したことはあったか

前号の繰り返しになります。本校では、「素直で言われたことは真面目にする」児童が多い一方、「自分から進んで考え行動すること」は苦手な傾向が見られます。山北小の全ての児童に、その子らしい良さや可能性（キラリと輝くもの）があり、優れた才能や能力を持ち合わせている児童が沢山いると、私（校長）は思っています。しかし、周りの友達と同等のレベルであることで、安心してしまっではないでしょうか。自分の良さや可能性をさらに輝かせるため、その子独自のより高次の目標を掲げて頑張っている児童は、残念ながら少ないように感じています。

このような本校児童の実態、なおかつ年度から全面実施される新教育課程の趣旨を踏

まえ、本校ではキャリア教育の視点を中核に据え、学校経営をブランドデザインしていくことにしました。

最近私は、玉東中三年生の公民の授業に開く機会がありました。とても素晴らしい生徒たちで、その主体的に学び、深く考え、自分の意見を持ち、活発に発表し合える姿に感動を覚えました。本校児童が中学校卒業を迎えた時、今の中三の生徒たちに負けないぐらいの「生きる力」を身に付け、まさしく「一人一人が輝き、夢実現」して欲しい。そのためには今、何が必要か？ その一つのアプローチとして、キャリア教育の視点が有効ではないかと考えているところです。



本校の「学校経営」ブランドデザイン(本校HPIにも掲載していますのでそちらでもご確認ください。)

和水・玉東陸上記録会を開催

二十一日（木）、玉東町民グラウンドで、第十一回和水町・玉東町学童陸上記録会がありました。競技の前には、オリンピックに二回出場した元陸上長距離選手の川上優子さんによる陸上教室があり、子供たちにとって良い経験と思い出ができたと思います。

子供たちは、夏休み明けから取り組んできた練習の成果を発揮すべく、全力で走り、跳び、投げてくれました。残念ながら本年度は、本校から新記録は出ませんでした。ベストの記録を更新しましたが、児童はたくさんいたようです。また、リレーのバトンパスもほとんどの学年でうまくいき、上位の順位になるチームが多かったです。



川口先生、大変お世話になりました

三年生担任の川口先生は、お休みされていた山王堂先生の代わりに、四月一日から本校に勤務されていましたが、十月一日からの山王堂先生の復帰に伴い、退任されました。三月に大学を卒業したばかりで、学習指導や学級経営も全てが初めての経験の中、若さと誠実さで子供たちのために精一杯励んでおられました。子供たちとの触れ合いをおして、川口先生ご自身も一回り大きくなりました。ではないかと思っています。

なお、川口先生は、十月一日より木葉小学校で勤務されています。